



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099 (226) 5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円



2014年 年頭教書

なれかしの心で家庭教会づくり

鹿兒島教区長 郡山健次郎



教区のみなさん、新年あけましておめでとうござい... 今年もどうぞよろしくお願いたします。新しい年をいかがお迎えでしょう。

教皇フランシスコとともに 今年、と言っても、少し先のことになります。十月に臨時の世界代表司教総会(シノドス)が開催されます。扱う問題は家庭のことです。昨年、準備のため...

のいくつかの質問が各司教に送られてきました。「家庭に家庭教会として...」の自覚をもつと持たせるにはどのようすればよいですか。「家庭での祈り方を...」

たということは、かつてのカトリック国をはじめ、世界各地で家庭での祈りがな... 報告が多数寄せられている証拠です。それは、人生の学校と言われる家庭がもはや信仰養成と伝達の場合として機能していないのではな...

家庭教会への道

とここで、私たち鹿兒島の現状はどうなのでしょう。か。「家庭教会」と聞いてどんな感想をお持ちでしょうか。一人住まいの人だけ...

教会はみんなが集まって神様を賛美し礼拝するところ... 主の日として復活を記念し、祝うのです。同じように、毎日、ミサが捧げられるこ...

言葉だったのです。

「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに」(マタイ26・39)というゲッセマ...

私のなれかし

い事だけでは済まされない問題もあることでしょう。しかし、「なれかし」に例外はないのです。

個人的な体験になります。小教区にいた頃のことです。ある時期、夜寝ている間の自分の心臓は外で動いているのではないかと思...

あんなのなれかし 自慢話めいてきました。が、幸いなことに、これまでの八年間であれほどの苦しい思いをしたことはまだありません。そうは言っても、私の苦しみは、血の汗を流された主の苦しみに比べたら取るに足りないものです。そういう意味では、みなさんに分かち合うほどのことではないかもしれませ...

今年も祈りの中で 祈る家庭教会を目指しましょう。主を知らない人々に、主と共に生きる人生の喜びと希望をもたらすことがで...

「すべては新しい始まりになる」という確信こそ信者の家庭のモットーにすべきことなのです。もちろん、みんなが信者でない家庭では、同じ思いを共有することはできないでしょう。そうであればなおのこと、信者はどんなことにも希望的であることを証する機会に恵まれていることになり...

共に歩む司祭たち 2014年

- 司教 郡山健次郎
名譽司教 糸永真一
司教総代理 小川靖忠
「教区司祭団」 J・タム(瀬留)、
柄尾泰英(大熊)、永山幸弘、大野和夫(聖心)、G・ティエン(小宿)、小隈憲士(鹿屋)、O・ベルナルディノ(志布志)、坂本進(溝辺)、牧山田一(吉野)、寝占敦之(教区本部・玉里)、P・アン、鄭法鐘(ザビエル)、泉浩二、宋診旭(鴨池)、竹山昭(紫原)、J・サントス(加世田)、小川靖忠(指宿)、鈴木康

ベルガ(谷山)、山口重義(静養)「コンベンツアル聖フランシスコ修道会」久保芳一(大笠利)、松永正男、西山達也(古田町)、榊修(古仁屋)
「聖ザベリオ宣教会」 J・サンタマリア(国分)、東研(始良)「イエズス会」岡俊郎(純心聖母会鹿兒島修道院)
「教区終身助祭」池上聖行(徳之島)、桃蘭淳一郎(鴨池)、久保俊弘(谷山)、四條淳也(喜界島)、川口茂(大植町)、石神秀人(阿久根)

十年後の奄美の教会の希望を探る 信仰年奄美地区信徒大会を終えて

奄美地区宣教司牧を考える会リポート

「信仰年の恵みを受けて、十年後の奄美地区カトリック教会に希望を見出せる信徒大会を！新しい何かを！」と、奄美地区宣教司牧を考える会主催「信仰年奄美地区信徒大会」が開催された。

これに先立ち地区の全小教区では「ゆるしの秘跡」が行われ、回心の恵みを頂き心の準備をした。

十一月三日（日）、名瀬聖心教会の聖堂は、郡山健次郎司牧様をお迎えして、奄美地区すべての小教区・修道会の参加者で満席となった。

総合同会は、青少年司牧委員会が担当、開会では全員で「信仰年」公式聖歌「クレド・ドミネ（主よ、わたしは信じます）」が歌われ、神聖さをもって聖堂いっぱい歌声が響き渡った。



司教様、神父様方、シスター方、そして、イエスキリストにおける兄弟・姉妹の皆様、私は今日、鹿兒島カテドラル・ザビエル教会でこうして皆様と一緒ミサをささげることができ、光栄に思います。

今日は「待降節第二の主日」です。クリスマスまで二週間余りとなりました。今日の福音には洗礼者聖ヨ

ハネが登場します。彼の生活は清貧そのものでした。「ヨハネは身にラクダの毛衣をまとい、腰には皮の帯を締めていた。食べ物はいなごや野蜜であった。」とある通りです。彼は、ユダ

の福音が教えてくれます。「わたしの後からおいでになる方は、わたしよりも力がある方で、わたしはその方のはきものを脱がせてあげる値打ちもない。」と。さで、この地・鹿兒島に

合わせた豊かな体験や考察は、今後も継続される。総括で永山神父は、前教皇様が信仰年に示された要

が深まり、証になつていく。敬司氏（聖心教会信徒会長）が開会の挨拶をし、今大会の主要部分である各小教区・修道女連盟・青少年司牧の九団体による発表へと進んだ。

この発表は、各団体で大きな課題を選び、全体で話し合い、実際に取り組んだ体験や実り、今後に向けての計画などを約五分間の時間設定で分かち合うものとなり、とても豊かな分かち合いとなった。

主な内容は次の通り。

①四教会の役員・壮年会・婦人会組織を一本化に編成。一致団結度が増し、豊かな活動内容になった。

②年間テーマを家族の信仰と宣教とし、小教区全体の分かち合いを重ねた。小教区家族の相互の関係

③祈りの集い・み言葉の分かち合いによる回心の恵み。幼稚園職員・園児への信仰伝達。

④家庭での信仰生活と教会学校の連なり。具体的な取り組み。僅かな発表時間に分かち

⑤カトリック信仰養成講座に参加。

⑥信者皆で聖堂での新約聖書通読リレー達成。

⑦来島者の受け入れ拠点としての可能性。おせっかい隊（班単位の助け合い）発足。市民講座の周知と充実。

⑧祈りの集い・み言葉の分かち合いによる回心の恵み。幼稚園職員・園児への信仰伝達。

⑨家庭での信仰生活と教会学校の連なり。具体的な取り組み。僅かな発表時間に分かち

合われた豊かな体験や考察は、今後も継続される。総括で永山神父は、前教皇様が信仰年に示された要

点「信仰の再発見と新しい信仰への熱意」「キリスト教信仰を伝えるための新しい福音宣教」に触れ、今回の発表内容の大半は前者に含まれていたこと。後者については、内向きの教会から、特に愛の活動を通して社会に開かれた教会にして行こうと。そして、今後の教会を発展させるために、一人ひとりが主体的・自立的に宣教の意識を持つて信仰生活を生きようと、皆を励ました。

その後、郡山司教司式による「信仰年信徒大会ミサ」がさげられた。ミサは典礼委員会が担当し、ミサ献金は「奄美災害基金」に充てられた。

ミサの中で司教は、歴代の司祭たちの努力、奄美の誇るべき歴史から、私たちが常に福音に忠実であるようにと望まれ、神様との交わりによって、成長する私

す。だから私たちが今日、洗礼者聖ヨハネのように力強く、主キリストを宣べ伝え、生活の中で証しする力を主に願いたいと思えます。さて、この地・鹿兒島に

難を主キリストへの愛で乗り越えて行くフランシスコ・ザビエルの思いを今日皆様と一緒ににしたいと願います。

また、二〇〇八年十一月二十四日に列福された鹿兒島の殉教者・レオ税所七右衛門のことも思い出します。彼は武士として生きていました。そして、カトリックの救いについての教えを聞くや否や洗礼を望み受洗を果たします。禁教令の最中でした。その百十七日後に殉教することになりました。

殉教者レオについての報告書にこんな下りがあります。「彼は神のあわれみがその心に触れた人のようにであった」と。そうです、

皆さん、私たちは主のあわれみと愛につつまれているのです。

明日私たちは「無原罪の聖マリア」の祭日を祝います。マリアは生涯キリストに仕えました。幼子イエスにも、十字架に向かうイエスにも同様でした。私たちがこの信仰に倣いたいのです。信仰を生きていることはとても素晴らしいことです。が、多くの困難があります。しかし皆さん大丈夫です。マリアが私たちに寄り添ってくれています。そして、私たちのためにとりなしてください。

教皇フランシスコは「信仰は人生に加える飾りのようなものではなく、犠牲を

伴う献身にほかならない」と指摘しました。今、暗闇に多くの人が寄り添い、小さき人々をいつも大切に生きていると教皇は言いたいです。皆様一緒に歩みましょう。多くの困難があっても教会と共に生きていきましょう。そして、まだキリストを知らない多くのの人に伝えたいのです。「あなたを愛している方がいらつしやる。その方の名はキリストです」と。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

「今年もシドツチ祭 十一月二十三日（土）屋久島教会ではジョバンニ・パチスタ・シドツチ神父の功績を記念する「シドツチ祭」が行われ、町主催のセレモニーがあったほか郡山司教司式のミサがさげられた。

▼信仰年閉幕徹夜祈祷会 愛の泉のメンバーが中心となり十一月二十三日（土）夜から翌朝まで、信仰年閉幕を記念しましたその実りを願う祈祷会がザビエル教会で行われた。

「あなたを愛している方がいらつしやる。その方の名はキリストです」と。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

「あなたを愛している方がいらつしやる。その方の名はキリストです」と。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

「あなたを愛している方がいらつしやる。その方の名はキリストです」と。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

最後にカテドラル教会に来て下さったすべての方に感謝いたします。私の心は皆様と一緒にです。皆様のためにいつも祈ります。ありがとうございました。

短信

常化献金」から「維持費」への移行ができるかできないかのアンケートを二〇一三年十一月二十五日付で「主任神父・財務委員・会計担当」の方にお送りしてあります。まだ回収が不完全ですが、このデータを土台に次回の「経済問題評議会」の開催になります。（会計担当 寝占敦之）

優しい方でした駐日教皇大使

純心学園創立八十年記念式典出席と教区の司牧訪問

駐日教皇大使ジョゼフ・チエノットゥ大司教が十二月六日(金)から三日間、鹿兒島教区を司牧訪問し、その気さくで温かい人柄で教区民と触れ

合った。チエノットゥ大司教は、聖フランシスコ・ザビエルがアジア宣教の拠点として活躍したインドはゴアに近いケララ州の出身の七十



子どもたちと握手を交わす教皇大使

年、一九六九年に司祭に叙階され、教会法博士でもある。司教に叙階されたのは一九九九年で、二〇〇五年から駐タンザニア教皇大使として活躍。日本には二〇一一年八月に着任している。今回の教皇大使の司牧訪問は鹿兒島純心女子学園(松下栄子理事長)の創立八

十周年記念式典がきっかけとなって実現した。教皇大使の式典への出席を願った学園の思いに合わせ、教区も司牧訪問を要請し、これに教皇大使がこたえてくれたもの。

教皇大使チエノットゥ大司教は、十二月六日(金)単身で鹿兒島空港に降り立ち、その後、鹿兒島市長、県知事を表敬訪問、夜は鹿兒島市内のホテルであった歓迎会で司祭、修道者、信徒ら五十人と交流した。

翌七日(土)は、鹿兒島純心女子学園創立八十年周年記念式典で感謝のミサをささげた後、聖ザビエルが島津貴久に布教の許可を得るために足を運んだ一宇治城(伊集院町)を訪ねた。

そして司牧訪問最終日の八日(日)は、ザビエル教会で午前十一時からミサを司式。ミサには四百人を

超える信者が駆けつけ、その穏やかで温かい人柄のチエノットゥ大司教のメッセージに聞き入っていた。【チエノットゥ大司教の説教は二面に掲載】

ミサの終わりにセレモニがあり、郡山司教と野田健太郎さん(ザビエル教会信徒代表)が歓迎の挨拶をする。チエノットゥ大司教も「日本にキリスト教を伝えたザビエルが上陸した鹿兒島に来るのが望みだった。私は教皇フランシスコからの特別の祝福と言葉を送りたい」と挨拶した。そして教会学校の大勢の子どもたちが一人一本ずつ花を手渡すとそれらを丁寧に取り、優しく微笑み握手

修道会便り

▼沖永良部修道院閉鎖 聖心の布教姉妹会では、十月三十一日付けで沖永良部修道院(和泊町和泊)を閉鎖した。これで同会の教区における修道院は、徳之島修道院のみとなった。

聖ザベリオ宣教会

十一月の管区総会で役員改選があり、新管区長にコデノッティ・クラウディオ神父(貝塚教会主任)が就任した。

訃報

小隈得蔵さん

小隈憲士神父(鹿屋教会主任)の厳父・得蔵さんが十二月七日(土)午後、老衰のため亡くなった。九十六歳だった。得蔵さんの葬儀は、十二月九日(月)鹿屋市吾平町の「ルミエール肝属あいら」でしめやかに執り行われた。

ディーノ神父の令兄

十二月初めベルナルディーノ神父(志布志教会主任)の令兄ホセ・アタナシエ・オローフォさんが肺炎のためフィリピンの自宅で亡くなった。六十二歳だった。アタナシエさんの葬儀は十二月九日(月)アルバイ州ギノバタンの聖母被昇天教会で執り行われた。

会と催し (1月)

- 1日(水) 神の母聖マリア
- 4日(土) 七田八十吉神父命日(一九八〇年)
- 5日(日) ルカ神父命日(一九九八年)
- 7日(火) 主の公現
- 9日(木) 教区司祭会・教区本部・16時
- 11日(土) 盛克志神父霊名(聖ライムンド)
- 12日(日) ハイシク神父命日(一九八九年)
- 14日(火) 主の洗礼
- 18日(土) 永島泰藏神父命日(二〇〇二年)
- 19日(日) キリスト教一致祈祷週間・25日
- 21日(火) 年間第二主日
- 25日(土) キリスト教一致祈祷集會・ザビエル教会・14時
- 26日(日) 教区巡礼委員会・教区本部・19時
- 27日(月) 郡山健次郎司教霊名
- 27日(月) 年間第三主日
- 27日(月) カトリック児童福祉の日
- 27日(月) フェリエ神父命日(一九一九年)
- 27日(月) オリブの会・教区本部・14時
- 27日(月) 司祭評議会・教区本部・13時30分
- 30日(木) 市・30日まで
- 30日(木) 定例司祭集會

祈りの意向

【フベナ】「司祭大会」に向けて司祭のために(22日) 祈りの使徒云一 宣 教・経済発展 日本教会・いのちの尊厳

+KABAYAN SEKSIYON+
Abba: Pagkakakilanlan kay Hesus
 Marami sa mga kredo ng mga Kristiyano ang tumatawag sa Diyos bilang "ang Ama, ang makapangyarihan sa lahat." Ang pagtukoy sa Diyos bilang "Ama" ay isang personal na pagtawag, pagsasaysay sa kanyang malasakit para sa lahat ng sangnilikha, lalo na sa lahat ng tao.
 Ang pagkalinga ng Diyos sa kanyang bayan na tulad ng isang ama ay matatagpuan sa Matandang Tipan (Dt.7:6-9); datapuwa't inihahayag ni Hesus ang isang ganap na kakaiba at malalim na kahulugan sa pagtawag sa Diyos na "Ama". Tinatawag na Ama ang Diyos 170 ulit sa mga Ebanghelyo (Marcos (4); Lucas (15); Mateo (42); Juan (109)).
 Ang pagiging Ama ng Diyos ay isang malinaw na batayan ng buhay at panalangin ni Hesus. Kadalasang nagdarasal si Hesus sa kanyang Abba. Tinatawag niya ang Diyos na "aking Ama" (Mt.11:26; Lc 10:21). Ang kanyang misyon ay mula sa Ama (Jn 11:41-42). Sa Huling Hapunan nakipag-usap siya sa kanyang Abba sa mga matitinding sandal sa kanyang buhay: Getsemani (Mc 14:36; Mt.26:42), Kalbaryo (Lc 23:34). Ang kanyang mga huling salita ay "Ama, sa mga kamay mo ay ipinagtatagubilin ko ang aking espiritu" (Lc 23:46).
 Sa medaling sabi ang kamalayan ni Hesus ukol sa kanyang Abba ay nagpapakita sa kanyang identidad bilang tunay na Anak ng Diyos-isang batayang katuruan ng pananampalatayang Kristiyano.
 Salubungin natin ang darating na bagong Taon 2014 ng punong-puno ng pag-asa at kagalakan.
Katesismo sa "Taon ng Pananampalataya (Fr.Dino Orolfo)

不正な管理人のたとえ

鈴木神父のやさしいみことば

イエス様のたとえの中にはちよつと常識では理解できないようなものが見られます。その代表例としてルカ福音書にある「不正な管理人」のたとえが挙げられます(16・1~13)。確かに、「主人は、この不正な管理人の抜け目のないやり方をほめた」という言葉から、どうして褒められるのか理解に苦しみます(16・8)。しかし、原文を分かりやすく直訳すると「主人は、思慮深くしたと不正な管理人を褒めた」となります。つまり、日本語訳にある「やり方」という言葉が見当たらないのです。このことから、主人は管理人が証文を改竄したことを褒めたのではなく、自分の危機を感じて、すぐさま身の振り方を考え、そしてそれを実践したことを褒めた、と考えられるのです。

では、イエス様はこのたとえによって何を弟子たちに語ろうとされたのでしょうか。イエス様が語られるたとえ話は神の国という視点から理解されなければなりません。このたとえの中でイエス様の言葉は「この世の予ら

不正な管理人のたとえ

鈴木神父のやさしいみことば

は、自分の仲間に対して、光の子よりも賢くふるまっている」と結ばれています(16・8)。このことから、神の国の福音という光に照らされた者はすぐにも悔い改め、神の国に相應しい者となりなさい、ということを弟子たちに語っていると考えられるのです。実はここまでがイエス様が語られた言葉であり、これ以降は後代の加筆と考えられています。

福音書とは一人が最初から最後まで一気に書き上げたわけではありません。現代に伝わっている聖書のすべては写本によってつくられています。そして、この写本が代になりイエス様の言葉がよく分るものがあります。ではそれが行われた箇所をどのように特定するのでしょうか。その一つの手段として言葉の使われ方の違いに着目します。今回は、「不正」という言葉の使われ方の違いを通じて、後代の加筆部分として考えられている箇所を考えてみましょう(16・9~13)。

一 江戸のキリシタン・曲直瀬道三（まなせどうざん）

江戸のキリシタンとして知られる人に、江戸丸の内道三町にあった道三屋敷に住む、医師として名高かつた曲直瀬（まなせ）道三（一五〇七〜一五九五）が挙げられます。彼は足利將軍義輝に拝謁し、毛利元就も治療しています。豊臣秀吉、家康も彼を敬重して、千利休から茶を学び、茶人としても知られていたのです。彼は一五八四年（天正十二年）、伴天連フイゲレイドから受洗し、その弟子八百人も同時に信仰に入ったと言われています。朝廷は、道三の改宗を惜しみ、思いとどまるよう御沙汰をしたのですが、道三は棄教しませんでした。

一四）が登場してきます。

二 ソテロ神父

江戸で活躍した伴天連として最も著名な宣教師は、フランシスコ会士ルイス・ソテロ神父です。彼は日本宣教のために、時の権力者である徳川家康にまず近づきました。家康がキリシタンを受容する気がないのを知ると、未だ天下取りをあきらめていなかった東北の勇・伊達政宗に近づき、政宗の天下取りに協力するかわりに布教を推進することを約束させたのです。政宗の娘でキリシタンになっていた「いろは姫」を家康の子・忠輝に嫁がせ、イスパニアなどの外国勢力を政宗の協力者とさせ、徳川を打倒せんとする目的を持って

キリシタンの歴史②

江戸のキリシタン

溝辺教会主任司祭 坂本 進

彼は、朝廷からの棄教勸告に従わず信仰を全うさせた反面、外国宣教師たちが、「日本の神仏は悪魔である」と言って攻撃したことに対し、「神々や仏陀を礼拝することは迷信であるが、祖先や偉人を尊敬することを攻撃することは、不当である」として、礼拝することと尊敬することを区別させ、その別を宣教師たちに認めさせた、とも言われています。

秀吉はキリシタン禁教令を出していたのですが、道三に手を触れることはしませんでした。彼は一五九五年（文禄四年）、数百人の門人に囲まれながら、八十九歳の高齢の生涯を全うしました。医師として、足利將軍、織田信長、豊臣秀吉、そして江戸の主となった徳川家康に仕えたのです。道三の後に『養生訓』で著名な日本におけるホリスティック医学の祖と言われる貝原益軒（一六三〇〜一七

三 原主水（はらもんど）
原主水（もんど）は、家康の小姓（側に仕える者）として千五百石を与えられていました。主水はイエズス会の伴天連から洗礼を受け、霊名をジュアン（ヨハネ）と名付けられていたのです。キリシタン禁教令が家康によって発布されるや棄教しない主水は捕えられ、両手両足のすべての指を切断され、額に十字架の焼印を押され、最後にうつぶせにされ、腿の筋を切り落とされ、ハンセン氏病の人たちの住む家に放り込まれました。

でござれば、我が罪のあがない主であられる救世主イエズス・キリストのため、生命を捧げるところでござる。キリストは誠に永遠の救いにましますぞ」（助野健太郎編『きりしたんの愛と死 下』）
神父二人と主水、信徒四十七人が殉教しました。次いで三百人が捕縛され、殉教したのです。この中には、十八人の子供があり、がんぜない姿でおもちゃを手にして嬉々として入場し、見物の人々の涙をさそったことが記されています。

「まず、子供たちに手がかけられ、首を落とされ、あるいは体を二つに割られ、また足を捕えられさかさに吊るされて胴体をずたずたに切り裂かれたのである。次に成人男子が、女子の目の前で、虐殺され、死骸が磔刑に処せられた。やがて、死体もろとも、生き残っている者すべてが、火で焼き殺されたのである」（同書）

原主水はこのような極刑に処せられても信仰を守り、永遠の救いを選んだのである。キリシタン信仰は主水達にとつて、生命を犠牲にしても守るべく価値のあるものであったのです。私たちが主水と同じように生きていきたいですね。

「拙者はかつて大御所（家康）さまの旗下にその人ありと知られた原主水でござる。かねて異教の迷信を慨し、長く追放の苦しみを受けてつつも、キリシタンの道に入り、今日の火あぶりを待ち受け申した。これただ独り救霊に導きくださるこの教えの真のあかしを立てるためにすぎ申さず。拙者の指と足の筋は切られ申したが、この手足こそ、拙者の行先を指す何よりの目印

「拙者はかつて大御所（家康）さまの旗下にその人ありと知られた原主水でござる。かねて異教の迷信を慨し、長く追放の苦しみを受けてつつも、キリシタンの道に入り、今日の火あぶりを待ち受け申した。これただ独り救霊に導きくださるこの教えの真のあかしを立てるためにすぎ申さず。拙者の指と足の筋は切られ申したが、この手足こそ、拙者の行先を指す何よりの目印

「拙者はかつて大御所（家康）さまの旗下にその人ありと知られた原主水でござる。かねて異教の迷信を慨し、長く追放の苦しみを受けてつつも、キリシタンの道に入り、今日の火あぶりを待ち受け申した。これただ独り救霊に導きくださるこの教えの真のあかしを立てるためにすぎ申さず。拙者の指と足の筋は切られ申したが、この手足こそ、拙者の行先を指す何よりの目印

「拙者はかつて大御所（家康）さまの旗下にその人ありと知られた原主水でござる。かねて異教の迷信を慨し、長く追放の苦しみを受けてつつも、キリシタンの道に入り、今日の火あぶりを待ち受け申した。これただ独り救霊に導きくださるこの教えの真のあかしを立てるためにすぎ申さず。拙者の指と足の筋は切られ申したが、この手足こそ、拙者の行先を指す何よりの目印

「拙者はかつて大御所（家康）さまの旗下にその人ありと知られた原主水でござる。かねて異教の迷信を慨し、長く追放の苦しみを受けてつつも、キリシタンの道に入り、今日の火あぶりを待ち受け申した。これただ独り救霊に導きくださるこの教えの真のあかしを立てるためにすぎ申さず。拙者の指と足の筋は切られ申したが、この手足こそ、拙者の行先を指す何よりの目印

「拙者はかつて大御所（家康）さまの旗下にその人ありと知られた原主水でござる。かねて異教の迷信を慨し、長く追放の苦しみを受けてつつも、キリシタンの道に入り、今日の火あぶりを待ち受け申した。これただ独り救霊に導きくださるこの教えの真のあかしを立てるためにすぎ申さず。拙者の指と足の筋は切られ申したが、この手足こそ、拙者の行先を指す何よりの目印

「拙者はかつて大御所（家康）さまの旗下にその人ありと知られた原主水でござる。かねて異教の迷信を慨し、長く追放の苦しみを受けてつつも、キリシタンの道に入り、今日の火あぶりを待ち受け申した。これただ独り救霊に導きくださるこの教えの真のあかしを立てるためにすぎ申さず。拙者の指と足の筋は切られ申したが、この手足こそ、拙者の行先を指す何よりの目印

文芸

俳句

短歌

純心学園 山頭 信子
鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和

鹿兒島純心 川上 和
鹿兒島市 徳永ノブ子
鹿兒島純心 川上 和